



pick up

特集！ふれ合いの旧棟の生活

賑やかさがウリです

～老人ホーム（旧棟）の生活を知る～

年齢を重ねても慣れ親しんだ島で暮らした。いつでも会える場所で両親の面倒を見た。そんな島の家族にとって欠かさない存在といえるのが、新島村唯一の特別養護老人ホーム。島の介護福祉拠点としてさまざまな機能を有する新島はまゆう会ですが「はまゆう会といえはホーム」という方も多いいのではなうでしょうか。そこで今回介護係長・小野寺香織さんと主任生活相談員・菊地静香さんに突撃取材！旧棟の生活についてくわしく伺ってみました。（取材：新島オイギー）

～広い館内でにぎやかに過ごす旧棟の日常～

間々下海岸を望む高台に建つ旧棟は、中庭を囲むように居室や食堂などが並び、日当たりのよい館内は明るい雰囲気包まれています。館内で生活しているのは、30名の入居者さん。さらにシヨーステイの利用者さんが最大6名滞在しています。



▲食堂のひとコマ。



▲寝たまま入れる浴槽。安全に、負担なく入浴をいただけます。

居室は個室もありますが、基本的には4人部屋、2人部屋での共同生活です。平均年齢90歳、全員が村の方で互いに顔見知りの間柄。そんな入居者さんを支える介護職員も多くが島出身者で、日勤約6名、夜勤2名の勤務体制で介護にあたっています。

旧棟の朝は、7時の朝食からスタート。居室から食堂までは少し離れているので、利用者さんは5時半頃から順次身支度を整え、食堂へと移動します。コロナ対応で間隔を取るため、現在は3カ所に分かれて食事を摂るスタイル。食事が終わると口腔ケアをして、口の中を清潔に保ちます。

朝食の後はお風呂タイム。昼食をはさんで午後もお風呂に入浴します。浴槽は1人用の浴槽に入る個室、イスに座った状態で入れるチェア浴、寝たまま入れる機械浴の3タイプあり、体の状態に合わせて入浴できる環境を整っています。機械浴では、2名で入浴介助を行います。その他、居室・浴室間の移動に

付き添いし着替えを手伝う職員、体の状態を確認する看護職員など、多いときには4名の職員が入浴をサポートしています。「『顔に水があたるのが嫌』『臭いが悪いから嫌』と入浴をしぶる方もいて、お風呂に入るまでが大変だったりするんですけど介護職員はみんな入り浴介助が大好きなんです。最後は必ずサッパリして喜んでくれますから」と小野寺さん。



午後はお楽しみタイム。ジョウズやおコーヒ一、和菓子やおせせいな職員が準備するほか、家族からの差し入れを出すことも。1人ひとりの健康面を考えて、量の減らしたり別のお菓子にしたりと日々調整しています。おやつが終わり、夕食が始まるまでは食堂でカラオケ大会。歌が大好きな入居者さんが多いので、職員が曲を入れるとマイクを持って歌い出す人、口ずさむ人、それぞれにカラオケを楽しむそう。「夕方になると『家に帰らなきゃ』と気持ち不安定になる方が多いんですね。カラオケは入居者さんのザワザワした気持ちを鎮める効果もあります。『ここで楽しくすごしてくださいね』という思いをこめて続けています」と菊地さん。夕食の後は、入れ歯を預かって職員が保管。19～21時の間に就寝となります。

～コロナ禍でも楽しく過ごせる工夫を～

明るくにぎやかな雰囲気を持っているのが、職員のみならずです。広い館内で36人の利用者さんをケアするためには、スタッフ同士の連携が不可欠。入居者1人ひとりには施設サービス計画書が立てられ、食事、運動、1日の水分量まで計画に基づいて介護が行われます。少しでも普段と違うことがあれば、すぐに日誌に記録。そうすることで全ての職員が情報を共有できるシステムになっています。

特にコロナ禍になってからは、外部との接触を極力減らす対策がとられており、職員の存在が重要になってきているといえます。家族との面会では玄関でガラス越しに会話ができるのみですが、今年度からは遠方の方でも会話ができるようウェブ面会を導入。けれど踊りや生け花、習字といったクラブ活動や、島内行事の見学は全て休止となっており職員にとってはもどかしい日々が続いています。

「特に子供たちとの交流は一番の楽しみなのですが、感染リスクを考えると…つらいですね。ただ2年間は中止が相次ぎましたが、3年目の今年は制限があるなかでいかに楽しい時間を過ごしてもらえるか、職員みんなで知恵を絞っています。ただ中止にするのではなく、どうすれば実現できるのか、中止だった場合の代替案はどうするか。ご家族と会えない今、一番身近にいる私たちがそのときでできることを考えてきたいです」と小野寺さん。

▼ドライブの様子。密を避けて出来ることを楽しみます。



～介護のプロだからできていることがある～

旧棟では普段から利用者さんが心地よくすごせるよう心がけています。それは利用者さんに対して「なるべく家にいた頃と同じように接する」ということ。例えば普段から屋号で呼ばれていた方は屋号で呼びかけ、会話も新島弁を交えて。島外からお嫁にきた人や、普段から標準語で話していた方は、名前を呼びかけ、標準語で話すようにしています。また歩行が困難で四つん這いやズリ歩きをする人も、行動を制限せず、職員が見守りながら自由に動いてもらっているそうです。「なかには自分のご家族を入所させることに後ろめたさを感じる方もいらっしゃいます。でも家族だからこそ、時にはキツくあたってしまったり、スムーズにいかないこともあって、かえって他人のほうがかまってくるともあると思うんです。介護にはプロの技術が必要場面が多くありますから、ご家族は安心して預けてほしいですし、ご入所されてもご家族の存在はとっても大きいので、引き続き私たち職員と一緒に利用者さんを支えてくださるようお願いしています。」

島ならではのあたたかなコミュニケーションをと、プロの技術に支えられ、旧棟は今日もほらかな笑い声が響いています。

▲日々のお散歩コース。神津島まで一望できる道行く車から手を振つても多数。



新任のご紹介

6月にミャンマーから来島した技能実習3期生の2人です。これからはよろしく願います。



【3期生 ニエインチャンエンさん】

お仕事にも慣れ、利用者さんのお世話をするのが楽しい毎日です。新島の道もほぼ覚えしました。買い物に行くのは少し不便ですが、海もあって、綺麗な景色がとてとても綺麗です。



【3期生 エーモツモツさん】

ホームのお仕事は職員の先輩達が優しく教えてくれているのでとても楽しいです。新島は静かで良い所です。夏は海で泳ぎ、とても綺麗で感動しました。

施設案内

はまゆう会を毎号
セクションごとにご紹介！！

御寄付・御寄贈のお礼

(令和4年5月～令和4年9月)

医務室 縁の下の力持ち ご利用者の健康を支える医務室の紹介です

『人の命を大切にし人に寄り添う看護』
『生活の場で生活ニーズを優先した看護』
を目標にしています。

入所されている方々は月1回診療所の
医師に診察を受けて頂き、さらに具合が
悪くなった方は診療所の医師と連絡を取
りながら、往診依頼や受診等の調整をし
ています。

その為、つらい時や気になる事がある
時は、みなさん我慢されることなく気軽
に看護へ声をかけてくださいます。

ただいま新島の方言を学習
中です。会話をしていて意
味がわからなかったり、か
らかわかれて大笑いしたり…。
方言ネイティブにあげられ
ています！

小さい頃から
様々な方にお世
話になり、その
お返しが出来れ
ばと思っていま
す。



▲医務室チームよりひとこと

私の祖母もこ
こでお世話に
なりました。よ
うな雰囲気だ
と過ごせるよう
健康面からサ
ポートしてい
ます！

また、入所されている方々のみなら
健康管理・予防接種について
職員で行えるように体制を整えて
います。

生き生きとした心豊かで健康な生活
が送れるよう健康管理を行う一方、人
生最期の時を迎える方々のため、最善
のお看取りに向け援助をさせていただ
きます。



▶毎週の回診の様子。
全員に看護師が立ち合
い、日々の様子と一緒に伝えます。

ご厚志に心より感謝申し上げます

宮川 洋子 様	式根島 100,000円
本間 隆 様	本村 100,000円
前田 平吉 様	本村 100,000円
松本 未央 様	東京都 50,000円
戸田 芳江 様	本村 50,000円



個人や団体の方々から、新聞紙・衣類・ウエス
・野菜果物等の食品・清涼飲料水など、約63件に
も及ぶ沢山のご寄付をいただきありがとうございます。
感謝申し上げます。個人名・団体名の全てを掲載で
きないことをご了承願います。

ボランティアの御協力ありがとうございます

(敬称を省略させていただきます)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2020
年7月よりボランティア及び慰問活動のほとん
どを中止いただいております。
その中で、ご協力いただきました。

衣類修繕 (2名) 新島クラブ連合会 新島婦人会
若郷婦人会 若郷老人クラブ連合会

お願い

*当施設では、排泄介助の際に古新聞を使用して
おります。ご連絡いただければご自宅まで受け
取りに伺います。

*令和4年度より、ウエスとして使用する物を、
タオル・バスタオル類、シーツ・掛布団カバー
類・タオルケット等に限らせていただくことと
なりました。衣類につきましては、生地の違い
等の対応が難しい為ご遠慮申し上げます。

式根島サービスだより

この秋、式根島デイサービスの新
しい仲間として森武彦さんが加わり
ました。新島や式根島の方は「美術
の森先生」といえばピンと来る方も
多いのでは？式根島中学校で10年間、
新島高校で7年間美術を教えられ退職
後も式根島に暮らしてシルバー人材
センターや養殖場のほか、9月からは
デイサービスの職員としても精力的
に活動されています。

手先が器用な式根島のみなさんだ
けに、デイサービスでは以前から工
作や絵などの制作に力を入れていま
したが、森先生の参加によって制作
物がパワーアップ！館内には色とり
どりの飾りや小箱、絵などが飾られ、

一歩足を踏み入れただけで楽しい空
気が伝わってきます。

取材当日は、うちわに描く絵の制
作中。題材や構図を決めたら段ボ一
ル紙で練習し、最後は白いうちわに
描いていきます。思い思いに色を塗
る利用者さんに「薄い色から塗った
ほうがきれいだよ」「ここに白をの
せてみて、ミカンが輝いてみえる
よ」と声をかける先生。指導を受け
て、利用者さんの絵がみるみる変
わっていくのがよくわかります。
「みなさんが楽しく描いている
ので、僕もワクワクするんですよ。
いずれは室内を絵でいっぱいにし
たい」と森先生もうれしそうです。

美術の森先生がスタッフ参加！名画がぞくぞく誕生！？



連絡先

各種お問い合わせはこちら。
お気軽にご相談下さい。

社会福祉法人新島はまゆう会
新島老人ホーム
Tel (04992) 5-1612(代)
Fax (04992) 5-1614
新島村地域包括支援センター
居宅介護支援センター
Tel (04992) 5-1913
Fax (04992) 5-1914



役員のご紹介

宮原正夫理事の退任に
伴い新たに理事に就任
いただきました。

新理事 青沼重和 氏
(元新島村職員)
任期：令和4年6月24日
から約2年間となります。

よろしくお願ひします。
(その他の役員について
は変更ありません)



職員大募集！

- 看護師 (正職員・パート)
訪問看護ステーション勤務となります。パートは時短・隔日勤務可能です。
- 介護職 (施設内介護正職員)
施設介護については、資格は問いません。おおむね55歳くらいまでの方。資格取得奨励制度あり。
- ヘルパー職 (訪問介護)
初任者研修終了以上の資格をお持ちの方。体力に自信があれば年齢は問いません。時短勤務や直行直帰型勤務など働き方は様々、相談に応じます。
- 介護支援専門員 (正職員)
介護支援専門員資格をお持ちのおおむね55歳くらいまでの方。いずれの職種についても新島村在住者、出身者大歓迎です。職種により試用期間あり。給与、手当等については、資格並びに経験等により考慮します。

はまゆう会で
働きませんか？

まずはお電話等でお問い合わせください。
5-1612 採用担当：施設長 前田まで